



【平成31年3月号】

清水小学校

校長 高井正樹

## 入学説明会

4月から中学生になる6年生が、清水中学校の入学説明会に出掛けました。保護者の方々と一緒に説明を受けた後、各教室を訪問し、授業の様子を参観して回りました。真剣に授業に臨む先輩たちの姿に少し緊張気味の6年生でしたが、兄や姉、少年団の先輩などの姿を見付けると、幾分表情が和らいだようでした。もうあと少しで中学生になる子どもたち。中学校の雰囲気を感じ、新たなステップへの期待や意欲を膨らませることができたのではないのでしょうか。中学校進学への準備が着々と進んでいます。



## 四字熟語



卒業を迎える6年生が、恒例の「四字熟語」にチャレンジしました。書写ボランティアの皆さんが総出で、子どもたち一人一人を手厚くサポートしてくださいました。初めて画仙紙に文字を書く子もあり、緊張の面持ちでしたが、ボランティアの皆さんの励ましの的確なアドバイスを受けて、力強く勢いのある文字を書き上げることができました。子どもたちの作品は、卒業式で体育館のギャラリーに展示します。

## 出前授業

もうすぐ中学校の一員となる6年生の子どもたちの不安な気持ちを和らげ、期待をさらに膨らませるために、清水中学校の先生たちが小学校を訪れて「出前授業」をしてくださいました。数学・英語・音楽・体育の4教科を担当する先生たちが1時間ずつ授業をしてくださり、子どもたちはちょっと高度な中学校の授業の雰囲気を感じました。出前授業を通して、中学校の先生たちと楽しくコミュニケーションをとれたことが、子どもたちにとって最高の“安心感”につながるものと思います。清水中学校の先生方、ありがとうございました。



## 伝統文化一日体験

1月31日（木）に、6年生を対象にした「琴・三味線・華道・茶道・剣武」の5つの伝統文化に触れる体験学習を行いました。町内で教室を開いている方などに講師になっていただき、とても丁寧に分かりやすく教えていただきました。

午前中に練習し、午後からは成果を発表しました。

子どもたちは、教わったことをしっかり、そして、生き生きと発表していました。この体験学習を通じて、技能的なことだけでなく、それぞれの文化における礼儀や作法等も学ぶことができたものと思います。



剣 舞



三 味 線



茶 道



琴



華 道



茶 道

（教頭 川崎 広輝）

## 卒業式練習が始まりました！

公立高校一般学力検査・面接試験も終わり、ピンと張り詰めていた緊張の糸が緩み、ホッとした表情がうかがえる3年生。今日からは本格的に「卒業式」の練習が始まります。練習の様子をのぞきに行こうと、入場前の整列したところへちょうど出くわすとキリッとした表情で「こんにちは！」と清々しい挨拶。そのりりしい姿は4月に会った時と比べ、また一段と成長した様子が見られました。3年間を過ごしたこの学び舎を目に焼き付け、共に成長した仲間と大きく羽ばたいてほしいと願っています。頑張れっ！清中生！



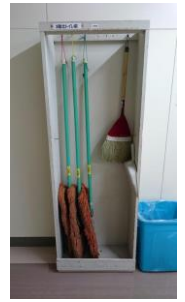
## 掃除をするのは・・・

生徒が帰宅した後に校舎の見回りをしていると、日中の生徒たちの様々な姿が目につかん

できます。机上に整然と置かれた小説には花柄のしおりが挟まれています。また、3階の廊下には昨日にはなかった「笑顔で挨拶を」との生活委員会のポスターが貼られています。

先日「今日もきれいに掃除がされているなー。よしよし」と見回りをしていると、廊下やトイレ前の水飲み場はもちろんきれいでしたが、ピシッと整った掃除用具が目飛び込んできました。掃除をするのは、もちろん校舎をきれいにするのですが、整理整頓された清掃用具入れを見た人の心もきれいになりました。ありがとう！

(教頭 須藤 正博)



## 御影中学校

校長 塚原 雄二

# 働く人のお話から働くことの意義を学ぶ

## 気づき、考え、行動する生徒の育成

2月7日(木) 2~4校時に1学年においての進路学習で清水町のホクレン製糖工場とプリマハムに職場見学に行きました。進路学習の職業調べにおいて「中学生として、自分の将来を考えながら、自己実現に向けての手順を知り、今何をすべきかを考える」をねらいとして実施した学習でした。清水町の地元の事業所を見学することによって、会社で働く人の話を聞くことができ、非常に勉強になりました。特に職員個人が仕事に就くまでのお話や、この職場における仕事のやりがいのお話など生徒は真剣に聴いていました。

特に、「働くということはどういうことか」「働く意義はなにか」「なぜ、この職業を選んだのか」「仕事のやりがいや喜びは何か」など将来の進路選択に参考となる話を聴くことができ、今後の人生にとって可能性が広がる学習をすることができました。



### ■生徒の主な質問と回答

#### □ホクレン製糖工場

- なぜ、この仕事を始めたか?  
「ホクレン全体で十勝のビートを買って、全国規模で流通させたかった」
- 気を付けていることは?  
「報告・連絡・相談を徹底すること」
- 常に大事にしている言葉は?  
「農業者、消費者が必要としていることは何か」

#### □プリマハム

- 会社の好きどころ、やりがいは?  
「一つの製品でいろいろな人が関わって、完成し、それが店頭で並んでいるのを見たら、やっていたよかったと思える」
- なぜ、この仕事を選んだか?  
「食べるのが好きで、製品を食べてもらっておいしいと言ってもらえるのが良いと思ったから」

ホクレン製糖工場、プリマハム両工場とも、徹底した衛生管理が印象的でした。服装、手洗い、消毒、エアーシャワーなど工場入室には時間がかかりました。

## あたたかさやさしさに包まれ、卒業証書授与式を挙

3月1日（金）。昨年度は大雪に見舞われましたが、今年度は柔らかな日差しの中、総合学科第20回の卒業証書授与式を挙

「心の安らぎ」を花言葉とするペチュニアの花が彩り、総合学科20回卒業記念に同窓会から贈られた真新しい横幕で飾られたステージ上で、133名の卒業生に卒業証書を手渡しました。



総合学科である本校は多様な教育活動を行っていることから、次のように表彰もたくさんあり、前日の全校集会で表彰しました。式当日は時間の都合上、学事報告に掲載し紹介しました。

### ＜全国総合学科高等学校長協会賞＞ 3年A組 相澤 春花

学業が優秀で勉強と部活動の両立を果たし、生徒会活動において生徒会長としておおいにリーダーシップを発揮し、学校内外で活躍しました。学校生活全般にわたる模範的な取り組みが評価されての受賞です。

### ＜御下賜金記念優良卒業生＞ 3年B組 浅間 聖菜

福祉や介護の専門科目の成績が優秀であり、授業における実技・実習にもリーダーシップを発揮して積極的に取り組みました。施設実習においても実習先から高い評価を受け、介護職員初任者研修を修了しました。以上のことが評価されての受賞です。

### ＜全国農業高等学校長協会賞＞ 3年D組 吉田 龍矢

人物・学業ともに優秀で、教科『農業』の実験・実習など進路を見据え課題を持って取り組み技術を向上させました。また、交流事業や高大連携事業などでリーダーシップを発揮し積極的に活動しました。以上のことが評価されての受賞です。

### ＜栗林育英学術財団研練褒賞＞ 3年C組 高倉 裕梨

人物・学業ともに優秀で、教科『農業』の実験・実習など進路を見据え課題を持って取り組みました。特に食品製造に関する技術を向上させ、食品製造チームで出場したオリジナルパンのコンテスト「パン甲子園2018 in いわみざわ」でのグランプリの受賞に大きく貢献しました。以上のことが評価されての受賞です。

### ＜全国商業高等学校長協会賞＞ 3年A組 佐藤 日向子

学習や学校生活全般において真摯な態度で取り組み、商業教育をよく理解し努力を重ね優秀な成績を修めました。特に全国商業高等学校協会主催の1級検定では4種目（情報処理、英語、珠算・電卓実務、ビジネス文書検定）に合格し、全商協会より表彰を受けました。以上のことが評価されての受賞です。

### ＜全国商業高等学校協会検定1級4種目合格表彰＞ 3年A組 佐藤 日向子

### ＜介護職員初任者研修 修了＞ （計 8名）

3年A組 篠原 悠暉 三好 萌々花、3年B組 高橋 悠希 浅間 聖菜、  
3年C組 遠藤 日奈会 渡邊 美里、3年D組 西丸 智華 本間 美奈

また、合わせて皆勤賞の15名を表彰し、最後は、あたたかい大きな拍手の中、学級担任の先導で、やさしくも晴々しい顔を浮かべながら退場しました。



本校を巣立った133名が、それぞれの地域で元気に活躍してくれることを願っています。

## 清水幼稚園

園長 福原幸江

### 一日入園で楽しみました

2月15日(水)に4月から幼稚園に入園する12名の3歳入園予定児と7・9・12月入園予定の満3歳入園予定児5名が来園しました。

9時からの受付には、次々とお母さんと一緒に登園。3歳入園児は、面接に一度来園しているせいか、明るく挨拶をする子がほとんどでした。満3歳児も一生懸命挨拶をしてくれました。

お母さんと遊戯場や各教室で自由に遊んだ後、遊戯場に集合し、開会式を行いました。その後、在園児からの歌のプレゼントや年長児からの手遊び(ひげ爺さん他)を楽しみました。リズムあそびの様子をみてもらった後に、年中さんと新入園児と一緒にリズムに合わせてアヒル歩きをしました。最後に、先生からのエプロンシアター(おおきなかぶ)では、みんなで「ウントコショ、ドッコイショ」と大きな声で『かぶ』が抜けるように一緒に頑張りました。最後に、年中組(さくら)さんから手作りのメダルをプレゼントしました。



### ひぐまクラブ(おやじの会)とわくわく冬あそび

2月24日(日)に、幼稚園のお父さんたちの会「ひぐまのクラブ」主催による「わくわく冬あそび」が行われました。例年は外で雪遊びをしていましたが、今年の雪の少なさに断念。わくわくあそびが始まったころの原点回帰で、遊戯場での開催となりました。

まず初めは、「しっぽ取り」です。園のルールで一方方向に走ることになっているので、子どもたちは、鬼役のお父さんの後を一生懸命走ります。初めは手加減していたお父さんたちも全速力!!。息を切らせながらの勝負でした。そのあとは、「玉入れ」や「ころがしドッチボール」でお父さんやお母さんと一緒に楽しみました。



帰りにはお土産をいただき、親子で家路につきました。子どもたちにとってお父さんやお母さんとの大切な思い出となりました。

## 第一保育所

### たのしい ひなまつり

3月1日(金)、ひなまつり会をしました。「うれしいひなまつり」を元気に歌った後、ひなまつりに向けてそれぞれが作ったお雛様の製作を各クラスの代表のお友達が発表しました。見ている子どもたちも「かわいい」「じょうず～」と楽しそうに見ていました。

ひな壇が徐々に出てくる出し物では、三人官女、五人ばやしの名前やお雛様やお内裏さまの持っているものを質問すると自信を持って答えているお友達が多かったです。最後に、ひなまつりの〇×クイズにみんなで参加し、正解が発表されると「イエーイ!!」と大喜びして、楽しい会になりました。



(保育士 渡辺 慶子)

### 身支度が早くなったよ



今年は雪が少なく、あまり雪遊びをする機会がありませんでしたが、1歳児の子どもたちは何度か雪遊びをしました。つなぎの服を自分で着るということに始まり、帽子を被り玄関へ…そこで今度は長靴を履きキャハンを付け、手袋を履くという長い道のりでした。外に出るとスコップを持ち、少ない雪でも楽しそうに遊んでいた子どもたち。最初は支度に時間がかかり、少ししか遊べなかったのですが、子どもたちもだんだん支度が早くなり、少しずつ長く遊べるようになったことに、成長を感じ、とても嬉しく思いました。

(保育士 増谷 妙子)

## 鬼からの！挑戦状！！～そして鬼がやって来た

2月1日（金）、豆まきが行われました！ある日届いた鬼からの挑戦状！  
「保育所行かない 行かないと泣く子はいないか？  
お友だちとけんかしている子はいないか？  
好き嫌いしている子はいないか？」と書かれた挑戦状を見た子どもたちは



毎日・・・ドキドキ緊張しながら過ごしていました。  
当日は鬼のお面を被り、豆箱を持って準備は万端で  
節分のお話を聞いたり、先生の出し物を観て過ごして  
いた・・・その時！！太鼓の音が響き！ドアを叩く音  
と共に現れたのは！！仁王立ちでにらんでいる赤鬼と  
青鬼でした。子どもたちは半ベそをかきながらも  
必死に豆をぶつけたので、鬼は「降参！降参！」とおみやげを置き、「約束を守れよ～」と  
手紙を置いて山へ帰っていきました。頑張った子どもたちは心の中の鬼を追い出して、  
これからも元気に保育所で遊ぶ事でしょう！



まいたちこ  
のめまご  
のめよ  
とらいた

まめ  
たべも  
よる

やまに  
くだもの  
たべな

(保育士 溝口 翔也)



## 雪山でげんきに 遊んでま～す！！

今年は雪が少なく、雪遊びをしていても  
土が見える日が続いていたある日！  
待望の雪が降りました。すると父兄から



「昨年ほど大きな山は造れないけど、雪山を作るね」と言ってくださり、子どもたちは楽しみ  
でたまらない様子でした。休み明けに保育所へ来た子どもたちの目の前には・・・  
待ちに待った雪山が二つも出来ていて、嬉しさ200%マックスの子どもたちは、早々にお外  
へレッツ・ゴー！！

その日の園庭は、子どもたちであふれ、登っ  
てはツルツル滑り、大笑いの日でした。

いつも協力して下さるご父兄の皆様のおかげ  
で、色々な事を経験する事ができます。

今年も坂滑りの楽しい思い出が出来ました。



(保育士 中口 輝美)

## ☺ 雪が少ない冬でした ☺

今年は各地でスケートリンクができないなど、雪不足の十勝でしたね。御影保育所でも雪あそびができない日が続きました。毎年グラウンドに作ってもらった雪山も今年はなく「雪であそべないね～」と話していたのですが、雪が少ないなら少ないなりのあそび方を考えるものです。今年は何のクラスも、よく散歩に出掛けました。雪がたくさんある場所を探し、そこで雪あそびを楽しみました。硬い雪を空手のように拳や足で割るあそび、鬼ごっこ、穴掘り、色々楽しめました。寒い時期に雪に色を付けてパフェを作るクラスもありました。そして、やっと雪が降った1月は「それ行け！」とばかりに全クラス外に出て、そり遊びやゆきをスコップで掘る遊びを、汗いっぱいになりながら楽しんでいました。でも、やっぱり冬は、雪が降ると嬉しいな～！



【雪は少ないけど楽しいよ！】

## ♪楽しいひなまつり♪

3月1日(金)は御影保育所のひな祭り会でした。始まりは年長の女の子達が舞台上に立ち、自分達で振り付けを考えた“ひなまつり”を楽しく歌ってくれました。赤いお顔の表現や帯を締める表現がとても可愛らしかったです。

ひなまつりとは、女の子が健康に育つことを願ったお祭りであること、昔は川に紙でできた人形を流していたことなどの由来を聞き、その後、先生の出し物「折り紙シアター“春の卵”」を楽しく見ました。先生方の掛け合いも楽しく、卵が鳥さんに変身するたび「かわいい！」と歓声が上がっていました。鳥さんから、ひなあられのプレゼントももらいました。

最後はゲーム大会。○×ゲームを全員でしました。ももさんは、年長のお兄さんお姉さんと手をつないで参加しました。やさしいお兄さんお姉さんは、間違っているとわかっているも小さい子がひっぱる方へ行ってくれました。何度も「ひしもち」と言っていたのに「ぼたもち」と間違える子もいて、大笑いのゲームでした。



【慎重に！落とさないでね～！】

次のゲームは二人一組でペアになり、ひしもち型のバトンを運びました。このひしもちが落ちやすい。落とさないよう、ゆっくりゆっくり慎重に運ぶ子どもたち。落ちると慌ててしまい余計に落ちていました。

その日のお昼寝が終わると、鳥さんからもらったひなあられとカルピスで、特別感を味わいながらのおやつとなりました。女の子のお祭りをみんなで楽しみました。

(保育士 田村 暁子)



## 1年間のご愛読に感謝

今年度も町内の幼稚園や保育所、小・中学校、高等学校の保育・教育活動の様子を「ちょっといい話」として紹介させていただきました。

この「ちょっといい話」は、平成24年度から清水町教育委員会ホームページでも配信させていただいております。開かれた保育所・幼稚園・学校の一環として、広く町内外に保育・教育実践を公開するものであります。

清水町の教育は、教育理念を「心響」、実践指標を“しみず「教育の四季」”として、学校、家庭、地域が連携して、町民総ぐるみで感性あふれ表情豊かな子を育てることにあります。

幼保小中高の接続と連携を縦軸に、家庭、地域、関係機関との連携を横軸とした「学びの環境づくり」に努めています。少人数学級や幼保小中高の連携、各種ボランティア活動等の取組が、この「ちょっといい話」の中に見ることができると思います。お陰様で地域の皆様方の温かなぬくもりに包まれ、確実に子どもたちは成長しています。

今後も、各保育所・幼稚園・学校のご協力のもと、「ちょっといい話」を皆様方に提供していきたいと考えております。

ご高覧の上、ご感想やご意見がございましたら、下記メールアドレスにお寄せいただければ幸いです。

Eメール：[sidoukan@town.shimizu.hokkaido.jp](mailto:sidoukan@town.shimizu.hokkaido.jp)

(教育指導幹 清水彦一)



家庭・学校・地域が連携して町民総ぐるみで「12の窓」から  
感性あふれ、表情豊かな子を育てる

春～さわやかな風の中で 元気に力強く

家庭・学校・地域

今月の取組

家庭は、背中に声かけ

いってらっしゃい

地域は、やさしく声掛け

元気でね